

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	527 つくばエクスプレス沿線コミュニティ補助事業					
予算科目	01-080411-11			担当部課	都市計画部沿線開発整備室	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	TX沿線開発地区内に転入してきた住民、TX沿線開発地区周辺集落の住民
目的	つくばエクスプレス沿線開発区域及びその周辺集落の良好な地域社会と新たなコミュニティ形成のほか、賑わいの創出を図る。
概要 (取組内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会においては、視察研修や各種勉強会を実施することにより、住みよいまちづくりに向けた知識の習得、清掃や防犯活動を通じた安心安全な住環境の創出を図る取組みなどの支援を行う。 ・各駅前イルミネーション実行委員会においては、イルミネーションの装飾や点灯式開催にあたり必要な支援を行う。

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	1,670	2,344	2,500	
	決算額	(千円)	2,674	2,606	1,433	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	2,674	2,606	1,433	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,462	4,749	3,499	4,957	4,957	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.70	0.70	0.50	0.70	0.70
		正職員時間外勤務	(時間)	210.00	0.00	40.00	80.00	80.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	イルミネーションの装飾方法については、市の施設管理者と協議しながら進めている。
企画・立案、計画	実行委員会ごとにイルミネーションの装飾や点灯式の内容を考え、補助金で賄えない分については協賛金を集めるなどして対応している。
実行	実行委員会が主体となって、点灯式やイルミネーションの装飾を行う。
評価、検証	装飾したイルミネーションの取付けなどに欠陥があった場合には、次年度取付け方法を見直すなどの対応をしている。

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	各イルミネーション実行委員会へは、前年度に行われた監査結果を踏まえた対応を促している。本年度は、各駅ともにコロナの影響から点灯式の開催を見送り、イルミネーションの装飾のみを実施したため、各実行委員会とともに事業規模に合わせた補助金要望額となっている。	
成果	島名地区まちづくり協議会においては、交付した補助金を活用し、沿線開発区域内及び周辺区域において植樹を行い景観形成の促進のほか、不法投棄物の撤去などの保全活動を実施した。 各駅前イルミネーション実行委員会を中心にイルミネーションの装飾が行われ、駅周辺の住民が交流する機会を創出した。	
課題	業務	まちづくり協議会、3駅前実行委員会ともに、年度末に実績報告が提出されるため、他の年度末業務と重複し、業務が繁忙する。
	組織、予算等	コロナの影響で今年度はイルミネーション点灯式を見送ったが、点灯式を開催することになれば3駅同時に行うため、最低限3名の人員確保が必要となる。
改善目標	島名地区まちづくり協議会、3駅前イルミネーション実行委員会ともに、引き続き前年度の監査結果を踏まえた実績報告書の作成ができるよう指導していく必要がある。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続	
理由	-	

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	528 つくばエクスプレス沿線まちづくり事業					
予算科目	01-080413-11			担当部課	都市計画部沿線開発整備室	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	研究学園都市計画事業（一体型）特定土地区画整理事業			事業期間	毎年度	
根拠法令等	土地区画整理法			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	TX沿線開発地区内の土地の所有者及び居住者、土地区画整理事業施行者（茨城県）
目的	土地区画整理事業者（茨城県）と調整を行い、土地区画整理事業の円滑な進捗を図る。
概要 (取組内容)	毎年度茨城県とつくば市とで費用負担協定書を締結し、負担金の支払いを行う。なお、茨城県は国の補助金と市からの負担金を合わせ土地区画整理事業を施行する。

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	296,231	100,631	100,474	
	決算額	(千円)	93,554	175,002	199,604	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	9,454	42,002	20,104	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	84,100	133,000	179,500	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,012	3,392	6,850	3,425	3,413	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.70	0.50	1.00	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	29.00	0.00	20.00	10.00	5.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

指標名	TX沿線5地区の都市基盤整備進捗率(区画整理事業費ベース) (%)					成果指標	
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	
1	目標値	97.9	98.6	99.1	99.6	100.0	100.0
	実績	97.9	98.5	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	沿線開発5地区の都市計画道路（市道部分）における、つくば市負担金9,643,021千円に対する負担済額（R3年度認可予定の事業計画書ベース）						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	都市計画道路（市道）の整備に要する経費の一部を負担した結果、土地区画整理事業の進捗につながった。	
課題	業務	これまでどおり、土地区画整理事業施行者（茨城県）と調整しながら、負担金の協定・変更協定の締結、支払手続を円滑に進める。
	組織、予算等	今後の土地区画整理事業の事業計画変更に伴い、地区によっては負担金が増額となることも考えられ、土地区画整理事業施行者（茨城県）との協議・調整が必要となる。
改善目標	今後も土地区画整理事業が円滑に進められるよう、引き続き土地区画整理事業施行者（茨城県）と協議・調整を行っていく。	

評価

市民ニーズ	1	ニーズはほとんどない。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	529 景観緑地のあるまちづくり推進事業					
予算科目	01-080411-12			担当部課	都市計画部沿線開発整備室	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	つくば市景観緑地に関する要綱			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	景観緑地の所有者及び居住者
目的	住宅地と一体となった良好な景観を形成し、市民生活の向上と地域社会の健全な発展に資する。
概要 (取組内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・土地所有者は管理組織を結成し、市が承認した整備・管理計画書に基づき緑地を整備・管理する。 ・市は、計画書に基づいて整備された緑地の所有者と「地上権設定契約」を締結し、景観緑地を設置する。 ・管理組織は、市からの地代をもとに景観緑地の管理を行う。

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	6,243	6,064	6,995	
	決算額	(千円)	2,410	7,893	5,575	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	2,410	7,893	5,575	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	12,069	12,210	10,299	12,339	12,339	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.60	1.80	1.50	1.80	1.80
		正職員時間外勤務	(時間)	313.00	0.00	40.00	40.00	40.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	管理組合ごとに作成し、市が承認した緑地の整備・管理計画書に基づいて進められている。
企画・立案、計画	地代や組合費をもとに、管理組合ごとに緑地に係る年間の維持管理計画を立てている。
実行	管理組合ごとに造園事業者へ委託するなどし、景観緑地の維持管理を行っている。
評価、検証	これまでの維持管理手法などを検証し、次年度の維持管理計画を立案する際に活用している。

指標の推移

1	指標名	景観緑地の累計面積 (ha)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1
	実績	2.7	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	中根・金田台地区における景観緑地の面積（約4.1ha）						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	地上権設定契約の新規契約数の伸びは鈍化したが、管理組合や近隣の不動産業者と連絡を取り合い、景観緑地の所有者が変更になった際には、速やかに地上権設定契約内容の承継に関する契約締結手続きが進められた。	
成果	さくらの森で2区画、流星台で1区画と地上権設定契約を締結した。 春風台で1区画、春風台北部で3区画、さくらの森で13区画、流星台で10区画と地上権設定契約内容の承継に関する契約を締結した。 春風台の景観緑地に係る訴訟について、弁護士や市法務課と準備書面作成等の対応を行った。	
課題	業務	例年6月に、契約者ごとに地代を算定の上請求書を送付し、地代の振込処理を行う。また年末にも、契約者ごとに支払調書を作成し送付する業務があり、個人情報保護の観点から、慎重な業務となる。
	組織、予算等	上記業務に際しては、個人情報保護の観点から、複数人でチェックする機能も含めた体制づくりが必要である。
改善目標	良好な景観形成を図るため、引き続き管理組合や近隣の不動産業者と連携しながら、地上権設定契約、地上権設定契約内容の承継に関する契約を進めていく。	

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	2	計画から遅れている。(未達成)
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	地上権設定契約を締結する土地所有者の数が増えることが見込まれるため。